

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語科】

1. 対象 知的障害 小学部

本校に通う児童は、様々な事情があり親元から離れ施設で生活している。そのため、社会での経験がほとんどなく、興味関心がとても狭い。また、取り組んだことのない課題に苦手意識がある。その反面、自分が好きなことや取り組みたいことを相手に伝えることができるが、どのように伝えれば良いかであったり、文章に書いてまとめたりする力が弱い。言葉だけでなく、自分の気持ちを文章でまとめたり、具体的に伝えることができるようになったりすると、より生活が豊かになると考える。まとめていく中で、言葉の意味理解を深め、表現方法を学んでいってほしい。本単元では、文章でのまとめ方、自分の気持ちの表し方（表現方法）、伝え方を指導する。

2. 単元名「 興味のあることを相手に伝わるようまとめて、発表しよう 」

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・ どう表現すれば良いかが分かり、自分で文章にしたり、教師や友達に聞いたりして文章にすることができる。・ 様々な表現や語句に触れ、言葉の意味が分かる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none">・ 興味のあることについて本やタブレットで調べたり、教師に聞いたりすることができる。・ 何を、どう伝えれば良いかを教師や友達と一緒に考えることができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">・ 覚えた表現や言葉を使って、相手に伝えることができる。・ 自分なりに書いてみようという気持ちを持ち、課題に取り組むことができる。

3. 本時の目標

- ・ 原稿を見て、強調するところ、ゆっくり話すところなどを考え話すことができる。
＜知・技＞ ＜思・判・表＞
- ・ 覚えた表現や言葉で、興味のあることを相手に伝わるよう話すことができる。 ＜主＞

4. 授業展開【 **本時** ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

興味のあることを伝えたい。聞いてほしい。

考えるための材料

- ・ 単元で児童がまとめた興味のあることポスター、原稿用紙（別紙）

単元の中で自分なりに文章に書いてまとめてみたり、教師と一緒に表現方法を考えたりした。なぜ興味があるのかについての理由は、格好良いから、可愛いからなど漠然としていたが、やりとりをする中で、「○○の触った感触が気持ちいから。」「○○の試合を観て、ロングシュートを決めた姿が格好良かったから。」など具体的に書くことができるようになってきた。

原稿にはマーカーを引き、強調して伝えたいところ、その理由など児童がどうすれば良いか考えながら伝えることができるようにする。また、間の取り方など具体的に原稿に秒数を記入することで、目で見えて考えながら伝えることができるようにする。

想定される活動

- ・自分でまとめた原稿やポスターを発表する。
- ・友達の話の聞いたり、感想を伝えたりする。
- ・聞いてもらった人からの感想を聞く。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

対話と思考では、発表後に友達と意見を交わす場面を設定する。どこが良かったか、どうすればより良くなるかなど伝え合うようにすることで、伝えるときに必要なことに気が付くことができるようにする。言葉だけでは理解が深まらないことも考えられるため、出た意見を教師がホワイトボードに文字で書き、思考できるようにする。

教師からは、具体的に良かった点を伝え、「次からはこうしてみよう。」と児童が思うことができるよう対話を重ねる。

- ・「発表緊張するな。しっかりできるかな。」
- ・「自信を持って発表することができたぞ。」
- ・「緊張してうまくできなかつたな。」
- ・「〇〇さんの発表がすごく分かりやすいな。」
- ・「先生や〇〇さんが褒めてくれて嬉しいな。」
- ・「ゆっくりと話すことも伝えるときに必要なんだ。」
- ・「もっと練習をしよう。」など

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・「聞いてもらえて、伝わって良かった。」
- ・「もう一回やってみたい。」
- ・「次は〇〇について伝えてみたい。」

ただ伝えるのではなく、自分が何を伝えたいか、そのためにはどういう情報が必要か、どうまとめていけば伝わるかなど一人一人が感じることができるよう本時をまとめていきたい。